

1) 有声音化

①母音の次の「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ」は濁る。 * (ㄱ)語頭の場合「k」語中では濁って「g」になります。

ㄱ [k, g] ㄷ [t, d] ㅂ [p, b] ㅈ [ts, d]

例) 아기 구두 부부 여자

②パッチム「ㄴ, ㄹ, ㄹ, ㄹ, ㅇ」の次の「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ」は濁る。

ただし、パッチム「ㄹ」の次の「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ」が濃音化される例もある。

例) 활동 → 활똥 한국 일본 혼자 항구

* 「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ」以外の子音は濁らないので注意しましょう。

2) 連音化 서울이 → (実際の発音) 서우리

①パッチムの次に来る「ㅇ」の場合はパッチムは「ㅇ」に移動して発音される。

例) 일본은 → 일보는 사람이예요 → 사라미예요

②パッチムに二つの子音がある(二重パッチム)ときは、うしろの子音が次の文字の「ㅇ」に移動される。

例) 넓어요 → 널버요 앉아요 → 안자요

* ただし、パッチムの「ㅇ」はほぼ発音されない。

例) 좋아해요 → 조아해요 넣어요 → 너어요

〈練習〉 약속이 ⇒ 회사원이에요 ⇒ 밖에 ⇒ 쌓아요 ⇒

3) 鼻音化 입니다 → (実際の発音) 임니다

	口音	鼻音	流音
k 型	ㄱ, ㅋ, ㆁ	ㅇ	
p 型	ㅂ, ㅍ	ㅁ	
t 型	ㄷ, ㅌ, ㅊ, ㅌ, ㅌ, ㅌ, ㅌ, ㅌ	ㄴ	ㄹ

パッチムのあと鼻音の子音がつづく場合、パッチムは鼻音に変わる。

例) 「입니다」の「니」の直前のパッチム「ㅂ」は p 型、p 型の鼻音は

「ㅁ」なので実際の発音は「임니다」に変わる。

例) 아닙니다 → 아님니다 있습니다 → 있습니다

읽는 → 잉는 작년 → 장년

받는 → 반는 옛날 → 연날

〈練習〉

합니다 ⇒ 식물 ⇒ 입문 ⇒

갑니다 ⇒ 만납니다 ⇒ 어렵네요. ⇒

4) 「ㄷ」弱音化 전화 → (実際の発音) 저놔

鼻音につづく「ㄷ」の音は弱くなって「ㅇ」に変わり、

パッチムの音が移動して連音化にされる。

例) 전화 → 전와 → 저놔 영화 → 영와 외출하다 → 외출아다 → 외추라다

전혀 → 전녀 잘하다 → 잘아다 → 자라다

〈練習〉은행 ⇒ 신혼 ⇒ 성함 ⇒ 다음에 ⇒

5) 激音化 좋다 → (実際の発音) 조타

①パッチム k 型 (ㄱ), t 型 (ㄷ), p 型 (ㅂ) + 「ㄷ」 → ㅋ, ㅌ, ㅍ に変わる。

例) 백화점:パッチム「ㄱ」+「ㄷ」→ 배화점

따뜻해요:パッチム「ㅌ」+「ㄷ」→ 따뜨태요

②パッチム「ㄷ」+ ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ → ㅋ, ㅌ, ㅍ, ㅊ に変わる。

例)어떻게 : パッチム「ㄷ」+「ㄱ」→ 어뜨케

많지 않아요 → 만치 아나요 괜찮아요 → 괜차나요

〈練習〉부탁합니다 ⇒ 입학 ⇒ 축하 ⇒

못 하다 ⇒ 많다 ⇒ 먹지 않고 ⇒

6) 濃音化 학교 → (実際の発音) 학교

①パッチムの k 形, p 型, t 型の口音 (ㄱ, ㄷ, ㅂ)に「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ」が

つづく場合、「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ」の濃音に変わる。

パッチム「ㄱ, ㄷ, ㅂ」+「ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ」→ ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ

例)식당 → 식땅 약사 → 약싸 자영업자 → 자영업짜

식사 → 식싸 약국 → 약꾹 국밥 → 국뺨

숙제 → 숙째 있다 → 있따 습기 → 습끼

7) 流音化 신라 → (実際の発音) 실라

①パッチムとその後につづく子音が「ㄴ」と「ㄹ」、又は「ㄹ」と「ㄴ」の場合、どちらの音も「ㄹ」になる。

パッチム「ㄴ」+「ㄹ」→「ㄹ」+「ㄹ」 パッチム「ㄹ」+「ㄴ」→「ㄹ」+「ㄹ」

例) 편리 → 펠리 논리 → 놀리 설날 → 설랄

②ただし、漢字語が合成された単語の場合には「ㄴ + ㄴ」になります。

例)생산량 → 생산량

〈練習〉연락 ⇒ 실래 ⇒ 일년 ⇒ 관람 ⇒ 의견란 ⇒

8) 母音「ㄹ」の発音 회의 → (実際の発音) 회이

①「의사」のように「의」が単語の語頭に来るときには、口を横に広げて「의」発音する。

例) 의자 → 의자

②「회의」や「편의」単語の語中や語尾に来るときには「이」の音になる。

また、「하다」のように他の子音がつく場合にも「히」のように母音「히」の発音だけになる。

例) 회의 → 회이 무늬 → 무니

③動詞「の」の意味で使われるときには「에」と発音します。

例) 나의 여자 → 나에 책 친구의 집 → 친구에 집

〈練習〉호의 ⇒ 편의점 ⇒ 의미 ⇒ 희망 ⇒ 한국의 수도 ⇒

9) 口蓋音化 같이 → 가치

パッチムの「ㄷ」又は「ㅌ」の次に「이」が来ると、それぞれ「ㅈ」「ㅊ」の音に変わる。

パッチム「ㄷ」+「이」→「지」

パッチム「ㅌ」+「이」→「치」

例) 굳이 → 구지 같이 → 가치

〈練習〉만이 ⇒ 불이다 ⇒ 발이 ⇒

10) 二重パッチム

パッチムに子音が二つあるときには、どちらか一方を選んで発音します。

①パッチムに子音が二つあるときには、ほぼ「ㄱ, ㄴ, ㄷ...」の早い順を優先して読む。

例) 닭 → 닥

〈練習〉값 → 앓다 →

②パッチムに子音が二つあって、次に来るのが「ㅇ」から始まる文字の場合、

パッチムの前を読み、後ろの部分は連音化される。

例) 앉으세요 → 안즈세요

〈練習〉값이 → 젊어요 → 읽어요 →

③その他: ㅉㅇ → ㅇ

ㅉㅍ → ㅍを選んで発音する。

例) 삶 → 삼 읊다 → 읊다